

オフィス環境、生産性向上も快適さも ワンストップで提供

～DXとGX 両面からの提案で企業の成長を支える～



株式会社 インフォファーム

代表取締役社長

辻 雅文氏

- 住所：岐阜市柳津町流通センター1丁目8番地4
- TEL：058-279-1881
- URL：<https://www.infofarm.co.jp/>
- 事業内容：IT関連事業(情報システム、各種パッケージ製品の設計・開発・運用保守等、情報機器の販売、ネットワーク環境の提案・設計・構築等)、オフィス関連事業(オフィス・業務用家具の販売、オフィスプランニング等)
- 従業員数：260人

■ 会社が合併して生まれた相乗効果

聞き手：当協会の6月総会にて、副会長、そして労働部会の部会長に就任されました。これからよろしくお願ひします。では早速、御社の歴史についてお聞かせください。

辻社長：父の辻 正がこの仕事を始めたのは、日本のコンピューター黎明期とも言える戦後間もない1950年頃のことです。この会社の前身となる中部コンピューター(株)を設立したのは1969年。その3年後に、オフィス家具の販売を担う株中部も設立しました。子どもの頃は父も忙しくて、現会長の兄も私も、あまり遊んでもらった記憶がありません。それでも今思うと、早くから後を継ぐ気でいたように思います。

兄は(株)リコーに、私は(株)オカムラに就職し、その後それぞれに中部コンピューター(株)と(株)中部を継ぐことになりました。兄の会社は2004年に「(株)インフォファーム」と名前を変えるのですが、2007年、父の勧めで会社を合併することになりました。

これが一番の転機だったと思います。もともと兄の会社はIT分野、DX(デジタルトランスフォーメーション)系の事業で、私のほうはオフィス家具、GX(グリーントランスフォーメーション)系の事業という異分野で、それが一緒になったことで、オフィス環境の設計からネットワーク構築、情報機器のご提案までワンストップで対応できるようになりました。全国的にも、全てを一手に引き受けられる企業というのは珍しいと思います。

■ システム開発からオフィス設計まで幅広く対応

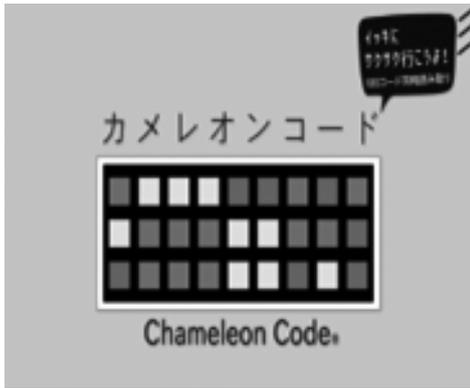
聞き手：建物の設計施工をという時に、器だけでなく、レイアウトや配置する機器まで含めてご提案できるのはとても説得力がありますね。では事業内容についても詳しくお聞かせください。

辻社長：IT分野については、システムエンジニアが70名近くいますので、お客様独自の情報システム等を設計開発しています。またパッケージソフトも手掛けていて、営業支援ツール「戦略箱ADVANCED」、全国のJA様向けの「戦略営農Navi」、福祉施設向けの「Medicare」等を多数開発・販売しているほか、他社ソフトの取扱いもしています。

オフィス分野については、学校や病院、役場のオフィスについて、設計をはじめインテリアコーディネイト、家具の納入まで手掛けています。

聞き手：インタビューさせていただいているこの空間も、アウトドアテイストが取り入れられていたり、随所に緑が配置されていたりします。

辻社長：お客様に見ていただくための設備でもありますが、コロナ禍の時期には社員が個室スペースでお客様とオンライン商談を行ったりして、予約がびっしりでした。現在、オフィスではフリーアドレスを採用しており、他部署とのコミュニケーションが良くなり、社員には好評です。



【写真左】

カラープリントするだけで使える「カメレオンコード」。以前は読み込みに高感度カメラが必要でしたが、現在はスマホで読めるため一気に活用範囲が広がりました。遠くから、一瞬でも反応するため使い勝手も良いのが特徴です。インバウンド対応等にも利用されています。

【写真右】

オフィスの一角。随所に緑があしらわれているほか、奥にはオンライン商談に使える個室も。

■「柳津の不夜城」からの大改革

聞き手: 人材採用についてはいかがでしょうか。

辻社長: できれば情報系専攻の方を採用したいのですが、なかなか厳しいですね。とはいえ、いろいろな努力をしてきた結果、最近では新入社員が毎年10名超、中途採用でも年間10名超が入社しています。実は以前は「柳津の不夜城」と呼ばれるくらい、夜中まで社員が仕事をしているのが当たり前の会社だったんです。

「このままではいけない」と働き方改革に10年間しっかり取り組み、ホームページでも公表してきました。今は岐阜県の「ワークライフバランス推進エクセレント企業」として認定されていますし、健康経営の認定にもエントリーしています。おかげで興味を持ってくれる学生さんも増え、他県から移住し就職してくれる方も出てきました。ウクライナやスリランカ出身の社員もいれば、上場企業から50代でUターン転職してくれた社員もいます。育休を取って復帰してくれる社員も増えましたね。

聞き手: 福利厚生を充実させないと目にとめてもらえない時代ですからね。

辻社長: 社員旅行は3年に1回です。海外へ3泊4日という年もあります。国内旅行なら行き先を複数候補から選べるようにしています。さらに、家族同伴もOKなんです。これは、もう40年以上前からですね。中には母親と参加したり、孫を連れてくる社員もいました。

■次世代カラーバーコード、スマホが進化したおかげで大躍進

聞き手: 家族同伴OKというのはエンゲージメントの向上にも繋がるでしょうね。では、今後の展望についてもぜひお聞かせください。

辻社長: スマホの進化でにわかには利用価値が上がった技術として「カメレオンコード」があります。以前、ベンチャーで活動していた会社ごと事業を引き受けたのですが、ICチップも高コストな装置もいらず、コードをカラープリントするだけで使うことができます。利用者はスマホにアプリを入れて読み込むだけで詳細な情報を表示できるため、飲食店

や海外のバスケット等、様々な場面で導入され始めています。最近では、学習塾でのお子さんの入退室管理や、病院での出退勤の管理、さらに大手メーカーでもモノや人材の管理に導入されています。当社でも工場内のAGV（自動搬送機）と組み合わせたりと生産性を高める取り組みに着手しており、活用の幅を広げていきたいと考えています。

また、新型コロナは今もまだ病院等では脅威の一つですが、そのウイルスを瞬殺できる装置「Dr. Air UV-C」を独占販売しています。「緩まないネジ」を開発した発明家・道脇 裕氏との出会いが発端となりました。当初はオフィスでの利用を想定していましたが、大手病院の手術室や感染病棟で使われているほか、病院や福祉施設等へのレンタルも行っています。これらの独自技術やサービスを核として、全国の中堅企業のお役に立てるような提案をしていきたいですね。

また、生成AIの活用も今後の課題です。社員数名を県内の大学へ短期留学のような形で派遣し、勉強してもらっているところです。

聞き手: それでは最後に、休日の過ごし方やご趣味についても教えてください。

辻社長: 50歳の頃、健康診断の結果が悪かったことから始めたのがマラソンです。2011年の「第1回ぎふ清流ハーフマラソン」3キロコースに参加したのが最初ですが、その時は完走できずとても悔しい思いをしました。その後は会社のマラソン好き社員たちと一緒に、ホノルルや東京、沖縄、台湾の大会にも出ました。それも、3回に2回はコスプレをしています。分かりやすい題材が多いですが、給水所でウケたりすると嬉しいです。

それから、やはり50歳で免許を取得した大型バイクも好きで、ハーレーダビッドソンに乗っています。一時はクラブにも入っていましたね。それから、英語の勉強を兼ねて洋画を毎月10本ほど見えています。

聞き手: 公私共に充実した毎日をお過ごしなんですね。本日は貴重なお話をありがとうございました。

聞き手 (一社)岐阜県経営者協会 広報部会委員

(株)市川工務店

常務取締役 **國島 太佳生**

経協ニュース

第59回岐阜県監督士養成講座(8講・閉講式)を開催

第8講 7月17日(木) 講師:土方 恒雄氏、関口 輝男氏
「改善実習」をテーマに、実際に製造現場で撮影した作業風景の動画を教材として「改善案作成」に取り組んでいただきました。

グループ毎に動画から作業の内容や作業者の動き、設備の配置など現場の「ムダ・ロス」について観察・分析を行い、改善案を資料にまとめ、翌日の発表会に向けての準備をしていただきました。



閉講式 7月18日(金)

各グループが作成した改善案の発表会を行ったのち、閉講式を開催いたしました。

岐阜県監督士認定委員長の水谷 泰三氏(株式会社文溪堂 代表取締役社長)より、本講座に対する講評をいただき、受講者に岐阜県監督士認定証が手渡されました。

また、講師代表として堤 卓雄氏より受講者の今後へ向けて激励のお言葉をいただき、今回参加の47名全員が全日程を修了しました。



大同大学共催「業界・企業研究バスツアー」を開催

8月5日(火)大同大学との連携による業界・企業研究バスツアーを初開催し、情報学部の学生14名に参加いただきました。

(株)インフォファーム、(株)文溪堂の2社を訪問し、各社の担当から事業内容の説明を受けました。その後、座談会・実際のオフィス見学を行い、リラックスしながら意見交換をすることができました。

参加した学生からは、「社内の穏やかな雰囲気を感じ、見学していて楽しく、勉強になった。」「自分たちの学んでいることが、どのように活かせるか考えることができた。」など感想がいただきました。



(株)インフォファーム



(株)文溪堂

岐阜県就職・転職企業説明会を開催

8月14日(木)じゅうろくプラザにて、2026年3月卒業予定の学生、既卒3年以内の求職者、45歳未満の若年求職者を対象とした合同企業説明会を開催し、企業15社にご出展いただきました。

本説明会は夏休みに帰省した学生や、失業保険受給中の方など幅広い方々と出会えることが強みです。

参加者は積極的に多くのブースを訪れる方、厳選した企業とじっくり話す方など、各々にあった回り方をしていました。



企業視察会を開催 **東濃支部**

7月14日(月)鍋屋バイテック会社へ企業視察を実施し、東濃支部の会員企業より12社(15名)が参加しました。

冒頭に東濃支部 支部長 加知 康之氏(東濃信用金庫 理事長)よりご挨拶をいただいた後、「良い商品は良い環境から生まれる」という理念のもと、「社員ファースト」を掲げた誰もが働きやすい環境や、感性や想像力を育む洗練された空間づくりについて、丹羽常務取締役から説明いただき、その後は敷地内にある工場及び美術館を見学させていただきました。



知って得する講座を開催 **西濃支部**

7月26日(土)サンワーク大垣にて開催し、午前・午後あわせて、延べ49名(午前の部15名、午後の部34名)に参加いただきました。

午前の部では、こくみん共済coop 岐阜推進本部 事業推進部 職域推進課 西濃地区長 中村 浩人氏を講師に迎え、「保障の見直しポイントについて」をテーマに、生命・医療・自動車・住宅など幅広い分野における保障の見直しの考え方を学びました。

午後の部では、東海労働金庫 大垣支店 FC営業担当 棚瀬 理恵氏を講師に迎え、「年金講座」として、公的年金制度の仕組みや、これから定年を迎える方々に向けたライフプランや定年後の働き方について解説いただきました。



デジタルセミナーを開催 **西濃支部**

8月5日(火)大垣市情報工房にて20名が受講しました。

指導は グレートインフォメーションネットワークの講師3名が担当し、「ChatGPT活用術／仕事で使える生成AI講座」をテーマとしました。

生成AIについての歴史、企業活用事例などの紹介から始まり、プロンプトの大切さ、機密情報の取り扱いの注意などの解説がありました。

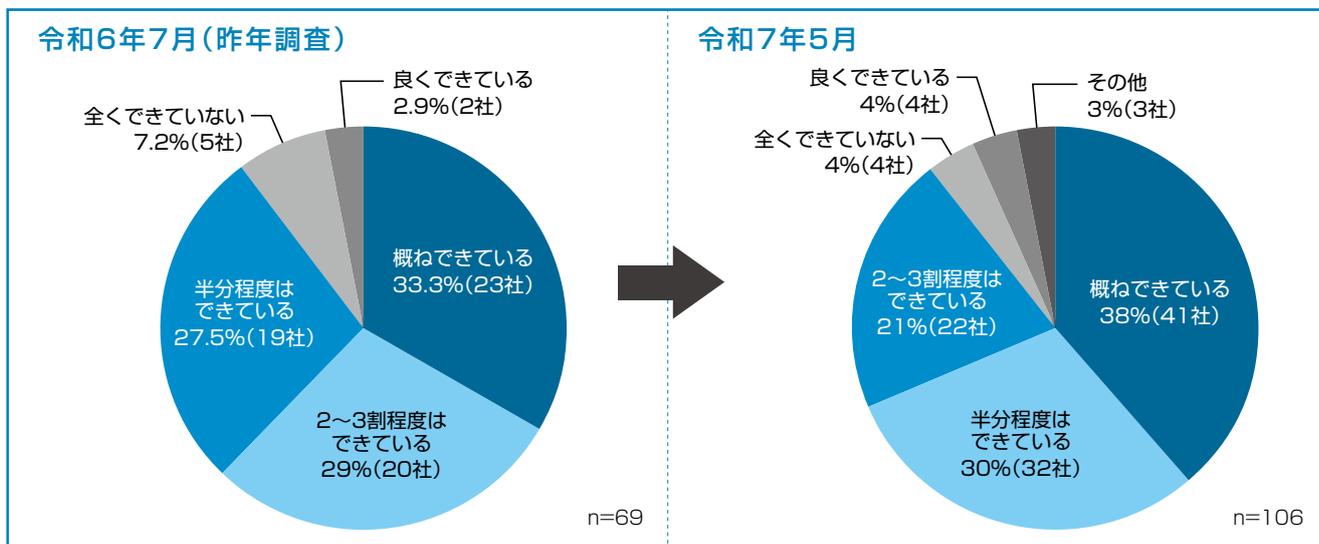
またExcelとの連携で、集計やグラフの作成、データ処理などを実習し、受講者からは「生成AIでこんなこともできるんだ、と驚くような内容がありました。日々の業務で今後活用ができるか、検討をしてみたい。」という感想がありました。



令和7年度 価格転嫁、人材雇用・育成等に関する実態調査 アンケート結果

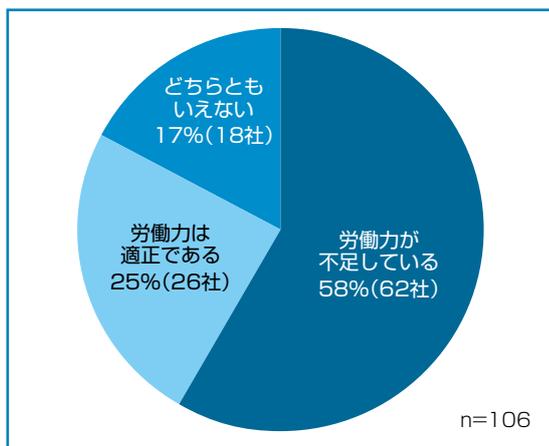
当協会では、令和7年5月に「価格転嫁・人材雇用・育成等に関する実態調査」を実施し、会員企業106社より回答をいただきました。結果は以下の通りです。

1. 価格転嫁の状況について



昨年時の調査結果と比較すると、企業の価格転嫁は1年前と比べると徐々にではあるが進んでいる。しかし、半分程度、あるいはそれ以下という企業を合わせると5割以上にのぼり、未だ十分ではない。

2. 現在の雇用(人材確保)の状況



調査の結果、約6割の企業が「労働力が不足している」と回答。「労働力は適正との回答」は25% (26社)、「どちらともいえない」17% (18社)となり、依然、企業の人手不足は続いているといえる。

※会員企業様は、「会員専用ページ」より本件調査結果の詳細がご覧いただけます。

当協会ホームページ先
QRコードはこちら



～会員の皆さま～ 新規会員を募っています。

当協会では、より多くの県内経営者の皆様に岐阜県経営者協会をご利用いただきたく、新規会員企業を募っています。当協会の趣旨にご賛同いただける経営者の方がいらっしゃいましたら、事務局員がご説明にまいりますので、何卒ご紹介くださいますようお願いいたします。

岐阜経協の活動は、当協会ホームページ(<https://gifukeikyo.org>)でもご覧いただけます。

人と経営 9月号

(第74巻9号通巻576号) (2025年9月1日発行)

■編集発行人

広報部長 堀部友里

■発行所

一般社団法人 岐阜県経営者協会

〒500-8833 岐阜市神田町2-2 TEL 058-266-1151 URL <https://gifukeikyo.org/>

■印刷・製本

株式会社印刷工房 〒501-0597 岐阜県揖斐郡大野町下磯750-1 TEL 0585-36-0201